

卒業生が回答した卒業時到達目標ごとの自己評価表—4年間を通して—の結果一覧

			令和5年度
			N= 46
I 看護を実践する			n(%)
看護の原理	看護サービスの効果的提供のための看護組織とマネジメントについて理解できる。	到達していない	0 (0%)
		あまり到達していない	0 (0%)
		ほぼ到達している	34 (74%)
		到達している	12 (26%)
	看護の学びを通して自分なりの看護観を形成する	到達していない	0 (0%)
		あまり到達していない	0 (0%)
ほぼ到達している		25 (54%)	
到達している		21 (46%)	
さまざまな看護場面におけるさまざまな対象者に応じた看護の役割・活動及び専門性を実践を通して総合的・統合的に考えることができる。	到達していない	1 (2%)	
	あまり到達していない	1 (2%)	
	ほぼ到達している	32 (70%)	
	到達している	11 (24%)	
ライフプロセスと看護	個人、家族、集団の健康レベルの回復、維持、増進をはかるために、統合的に考え、看護が実践できる。	到達していない	0 (0%)
	あまり到達していない	2 (4%)	
	ほぼ到達している	33 (72%)	
	到達している	11 (24%)	
II 人とつながる			
ヒューマンケアと看護倫理	様々な看護場面から他者のところを理解すると共に自己理解を深め、ヒューマンケアにおける人間関係について考察できる。	到達していない	0 (0%)
	あまり到達していない	1 (2%)	
	ほぼ到達している	24 (52%)	
	到達している	21 (46%)	
III 健康とつながる			
統合体としての人間と健康	健康概念の観点から対象者の生活の支援を総合的に評価し、考察することができる。	到達していない	0 (0%)
	あまり到達していない	1 (2%)	
	ほぼ到達している	31 (67%)	
	到達している	14 (30%)	
IV 社会とつながる			
ヘルスケアシステムと看護	さまざまな健康レベルにある対象者に必要な健康支援の政策について理解を深めることができる。	到達していない	0 (0%)
	あまり到達していない	2 (4%)	
	ほぼ到達している	27 (59%)	
	到達している	17 (37%)	
V 未来につながる			
教養とキャリア発達1	自分の課題を解決し、自己の関心のある看護の課題をさらに追求することができる。	到達していない	0 (0%)
		あまり到達していない	1 (2%)
		ほぼ到達している	26 (57%)
		到達している	19 (41%)
	看護専門職としての将来の自分像を考えることができる。	到達していない	0 (0%)
		あまり到達していない	1 (2%)
		ほぼ到達している	26 (57%)
		到達している	19 (41%)

自由記載欄	今後看護師になる上で大切な知識、技術を培うことが出来ると感じました。
	4年生はほとんど大学に行く機会がないため、勉強を自主的に行うものとそうでない者との差が開いたと思うので、定期を購入してももったいない頻度で講義を入れてもらえたら、大学で勉強に取り組むきっかけが出来たのかなと思った。
	満足です
	選択科目も多く、幅広い分野を学べたことは非常に大きかったです。保健師や助産師という選択肢があることはやはり大きな強みだと感じました。
	学生の到達目標に対して効果的であると感じます。
	特に
	良いと思います
	卒業前に臨床で役に立つ技術の練習会やセミナーなどがあると、入職後の不安が軽減されるのではないかと思う。実践をもっと行うべきだと思った

卒業生が回答した卒業時到達目標ごとの自己評価表ー4年間を通してーの結果一覧

令和5年度

N= 23

臨床検査学科			n(%)
基礎教育科目	基本的な知識を深め、想像力を深めることができる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	1 (4%) 4 (17%) 12 (52%) 6 (26%)
	幅広く医療現場を学び、自己の価値・倫理観を形成することができる	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 2 (9%) 15 (65%) 6 (26%)
	あらゆる医療現場におけるさまざまな対象者に応じた臨床検査技師の役割・活動及び専門性を実践を通して総合的・統合的に考えることができる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 4 (17%) 13 (57%) 6 (26%)
専門教育科目 (専門基礎分野)	人間の健康や環境を理解し、生活者視点より医療技術援助を実践できる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 8 (35%) 12 (52%) 3 (13%)
	医療現場から他者との関係を理解すると共に自己理解を深め、コミュニケーションにおける人間関係を考察できる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 1 (4%) 14 (61%) 8 (35%)
	健康概念の観点から対象者の生活の支援を総合的に評価し、考察することができる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 9 (39%) 9 (39%) 5 (22%)
専門教育科目 (専門分野)	あらゆる健康レベルにある対象者に必要な健康支援について理解を深めることができる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 6 (26%) 13 (57%) 4 (17%)
	自分の課題を解決し、自己の関心のある医療の課題をさらに追求することができる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 6 (26%) 10 (43%) 7 (30%)
	臨床検査技師としての将来の自分像を考えることができる。	到達していない あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	0 (0%) 3 (13%) 10 (43%) 10 (43%)